



サステイナブルコーヒー

現在のことだけでなく未来のことも考え、生物や自然環境、栽培する人々の生活を良い状況に保つことを目指して社会や経済に配慮して生産・流通されるコーヒーを「サステイナブルコーヒー」といいます。熱帯雨林の下で栽培したコーヒーを飲むことが、熱帯雨林とそこで生きる生物を守ることが可能です。

ユニーでは、安全安心で美味しいコーヒーを、私たちだけではなく私たちの子供達の世代も飲みつづけられるように配慮された、ロハス(LOHAS=Lifestyles Of Health And Sustainability)なコーヒーを販売しています。



サステイナブルコーヒー協会 川島会長

- 1 世界のコーヒーを栽培している地域は、赤道付近の熱帯雨林や生物多様性の豊富な地域である
- 2 農薬、水、土壌、隣接する森林への配慮を図る
- 3 熱帯雨林の下で栽培するシェイドグロウン農法で栽培(コーヒーの樹は日陰で栽培)
- 4 栽培する農家の生活環境保全や経済的な自立を図る
- 5 地域社会への安心・健康・住宅や教育施設などの提供
- 6 消費者に、コーヒーの品質・安全性、生産や流通過程の透明化を確保



レインフォレスト・アライアンス認証コーヒー

ユニー本社では、社員食堂に隣接する喫茶コーナーでレインフォレスト・アライアンス認証を受けたサステイナブルなコーヒーを使用しています。

レインフォレスト・アライアンス

地球環境保全へ向けて活動している「レインフォレスト・アライアンス」は、熱帯雨林の保護活動を行う国際的な非営利団体です。土地の利用法・商取引・消費者の行動を考慮することにより、生物の多様性を維持し、人々の持続可能な生活を保護します。「レインフォレスト・アライアンス認証」は、持続可能な農業により野生動物・働く人々・地元社会の生活が守られていると認められた商品につけられています。



社員食堂店長 羽田野 幹二

ユニー本社のコーヒーはサステイナブルコーヒーです

ユニー本社の社員食堂に隣接する喫茶コーナー「ロ パール」はユニーの関連会社ユニフードの直営店です。私は社員食堂の店長ですが、喫茶コーナーの店長も兼ねており、従業員やお取引先様に美味しいコーヒーを提供し、さらに熱帯雨林のカエルたちがずっと元気に生き続けられる自然環境を守れるという、レインフォレスト・アライアンス認証コーヒーを提供しています。このコーヒーは有機栽培でもあるので、農薬をあまり使わないので人間の健康にもよいとされています。これからも私たちが安全安心で美味しいコーヒーを飲み続けられるように、サステイナブルコーヒーを支援していきます。



COP10「パートナーシップ事業」への参加

COP10「生物多様性条約第10回締約国会議」は生物多様性条約を結んだ国が約2年ごとに集まり、生物多様性を守りこれが絶えることなく存続するための仕組みや、遺伝資源の利用から得る利益を公平に分けられる仕組みなどが話し合われます。

次回は2010年10月11日(月)～29日(金)の約3週間、愛知県名古屋市で開催されます。ユニーでは、COP10パートナーシップ事業に参加し、お客様・取引先・従業員と一緒に「いろんな生き物と一緒に生きる」地球環境を守っていきます。